

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

学校現場では、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子どもの数（令和5年度）が文部科学省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では11年連続で増加し、過去最多となっています。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、下記事項が実現されるよう強く要請いたします。

記

- 1 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善及び学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和7年6月27日

伊 那 市 議 会